

事例 1 【認証評価】

基準 7 学生支援

観点 1 : 学生に対する経済面の援助が適切に行われているか。

【現状の説明】

本学では、奨学金に関する情報を収集し、情報の一元化を図った上で、学生に掲示板等を使って提供している。奨学金の獲得実績（全学年）は、平成 22 年度の 1,012 件から平成 26 年度の 1,377 件へと順調に増加している（資料 1 : 奨学金の獲得状況 [全学年]）。

また、本学独自の授業料免除である「評価大学特待生制度」については、入学試験時の成績優秀者を対象に実施しており、授業料免除者の推移は以下のとおりである（資料 2 : 授業料免除者の推移）。

資料 1 奨学金の獲得状況 [全学年]

年度	平成 22 年度	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度
奨学金獲得件数	1,012	1,301	1,283	1,384	1,377	1,121

資料 2 授業料免除者の推移（名）

年度	平成 22 年度	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度
日本人向け入試 （推薦・一般）	15	15	16	16	16	16
私費外国人 特別選抜	5	5	5	4	5	6

【分析】

奨学金に関する情報について、様々な方法を用いて学生に周知しており、奨学金の獲得実績が上がっていることから、経済的支援が行われている。また、学生のニーズについては、随時学務課の窓口で対応しており、学生サービスの充実に努めている。

評価大学特待生制度について、平成 22 年度入学者向け入学試験分での授業料免除者は 15 名だったが、平成 27 年度入試分での授業料免除者は 16 名と、107%増しとなっており、支援を充実させている。

以上のことから、学生に対し、適切な経済的支援が行われていると判断できる。

■ 参考資料

大学改革支援・学位授与機構：

「大学機関別認証評価 自己評価実施要項（平成 29 年度実施分）」(p. 49)

【基準】

基準 7 施設・設備及び学生支援

7-2 学生への履修指導が適切に行われていること。また、学習、課外活動、生活や就職、経済面での援助等に関する相談・助言、支援が適切に行われていること。

【観点】

7-2-⑥ 学生に対する経済面の援助が適切に行われているか。

【留意点】

- 奨学金制度等に関する情報の学生への周知状況について分析。
- 奨学金制度等の整備状況に加え、利用実績等について分析。
- 経済面での援助に関する学生のニーズが把握されていれば、その資料・データを用いて分析。
- 奨学金（給付、貸与）、授業料免除、学生寄宿舍等、各大学固有の事情等に応じて、学生の経済面の援助が適切に行われているかについて分析。
- 留学生に対して、特別の援助を実施している場合については、その実施状況を分析。
- 大学院を有する場合は同様に分析。

【根拠となる資料・データ等例】

- ・ 日本学生支援機構奨学金等の利用実績が確認できる資料
- ・ 大学独自の奨学金制度等を有している場合は、その制度や利用実績が確認できる資料
- ・ 入学科、授業料免除等を実施している場合は、その基準や実施状況が確認できる資料
- ・ 学生寄宿舍を設置している場合には、その利用状況（料金体系を含む。）が確認できる資料
- ・ 各種支援制度の学生への周知方法（刊行物、プリント、掲示等）が確認できる資料
- ・ 上記のほか、経済面の援助の利用実績が確認できる資料
- ・ 学生のニーズの具体的事例等

大学基準協会：

「大学評価ハンドブック 申請大学用・評価者用」資料2 (p. 118)、資料3 (p. 131)

【基準】

6 学生支援

【点検・評価項目】

(2) 学生への修学支援は適切に行われているか。

【評価の視点】

- ・ 留年者および休・退学者の状況把握と対処の適切性
- ・ 補習・補充教育に関する支援体制とその実施
- ・ 障がいのある学生に対する修学支援措置の適切性
- ・ 奨学金等の経済的支援措置の適切性

【留意すべき事項】

② 方針に沿って、修学支援、生活支援、進路支援のための仕組みや組織体制を整備し、適切に運用しているか。

(評価するにあたり、当該大学の説明・証明から、下記のことが明らかであることに留意する)

<修学支援>

- ・ 留年者及び休・退学者の状況把握と対処
- ・ 学生の能力に応じた補習・補充教育の実施
- ・ 障がい学生に対する修学支援の実施
- ・ 奨学金等の経済的支援の実施

日本高等教育評価機構：

「平成 29 年度 大学機関別認証評価 受審のてびき」(p. 20)

【基準】

2-7 学生サービス

【評価の視点】

- ① 学生生活の安定のための支援
- ② 学生生活全般に関する学生の意見・要望の把握と分析・検討結果の活用

【エビデンスの例示】

- ・ 学生相談室、医務室等の利用状況を示す資料
- ・ 奨学金給付・貸与状況を示す資料
- ・ 学生の課外活動等への支援状況を示す資料
- ・ 社会人、編入、転入学生等への支援状況を示す資料
- ・ 学生生活全般についての満足度調査及びその分析結果、あるいは学生から要望を汲上げるシステムに関する資料

【自己判定の留意点】

- ・ 学生サービス、厚生補導のための組織を設置し、適切に機能させているか。
- ・ 奨学金など学生に対する経済的な支援を適切に行っているか。
- ・ 学生の課外活動への支援を適切に行っているか。
- ・ 学生に対する健康相談、心的支援、生活相談等を適切に行っているか。
- ・ 学生サービスに対する学生の意見等をくみ上げる仕組みを適切に整備し、学生サービスの改善に反映しているか。